

さくら学級（特別支援学級）生活単元学習 学習指導案

南当仁小学校

山本 隆一

1 単元名 「すすめ！さくら探偵団」

2 単元目標

- 1年間に学校・家庭で出しているごみの行方やリサイクルなど、ごみ減量に向けて自分たちができることがあることを知ることができる。 (知識・技能)
- 調べてきたことを、保護者や友達に分かりやすく伝えることができる。 (思考・判断・表現)
- ごみを減らすことについて、自分たちができることを考え、実施しようとするすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元はリサイクルを年間テーマと設定し、課題意識をもって生活単元学習に取り組むことをねらいとしている。身近な給食の廃材（野菜くず）を利用し野菜を育てる活動をきっかけに、3R（リサイクル・リユース・リデュース）の考え方を知ること、自分たちにもできることがあり、学校の課題などを自分たちの手で解決していくこと活動を行っていく。野菜作りや3Rステーション見学を通し、3Rを体験し、学校や家庭での実践を通して持続可能な社会を自分たちで作っていくという自覚も持たせていきたい。また、「さくら学級発表会」を行い、調べたり体験して気づいたことやみんなに知ってほしいことなどを発表したりすることで、取り組みを広げていくこともねらいとしている。

(2) 児童観

本学級の児童は6年生3人、5年生2人、4年生4人、3年生5人、2年生1人の計15人の学級である。交流学級では担任や補助員のサポートを受け参加している場面もある。生活単元学習では一斉学習の形態をとりながら個別の目標を立てて取り組んでいる。

自分の体験や金下をもいだし話すことができる子もいれば人前に立つと黙ってしまう子もいる。また、興味のあることは聞くが、そうではない場合は聞かない子もいる。書くことに関しては教師とのやり取りを通して書く子もおり様々である。

共通の体験を通すことで価値化への気づきや他者尊重、受容・寛容・共生に触れさせていきたい。

(3) 指導観

本年度は全員参加型の生活単元学習（さくらタイム）を設定し、縦と横音つながりを大切にしながらコミュニケーション力の向上を図るとともに、共通体験活動を多く仕込むことで、共に学ぶ喜びや共に達成する楽しさを味わわせていきたい。そのために単元の流れを視覚化し掲示したり、家族や友達に発表するというめあて（単元のゴール）を設定したりすることで「伝えたい」という意欲を高めていく。また、野菜つくりやリサイクル体験など、協働作業・感動体験を計画的に仕込むことで、自分たちの学びを伝えたいという意欲をさらに高めていくことができると考

える。

さくら学級発表会において、通常級の子どもたちにも伝え、感想をもらうことで、自分たちの行動や活動に対し有用感や達成感を持つことができ、さらに続けていきたいという思いにつながっていききたい。

(4) ESD との関連

①この単元で働かせる ESD の視点

- ・有限性：ものを大切に使用したり再利用したりし、資源を大切にすること意識を持つ。
- ・責任性：ごみ減量化を人任せにするのではなく、自分自身が行動することが大切である。
- ・連携性：一人ではできないことも、友達と協力すればいろいろなことができる。

②本学習で育てたい ESD の資質・能力

- ・コミュニケーションを行う力

③本学習で促す ESD の価値観

- ・自然環境・生態系の保全を重視する。
誰かが守るのではなく、自分たちで守るという意識を持つ。
- ・幸福感へ気づき
自分たちの活動や行動が、未来の幸せにつながっていることや役に立っていることに気づく。
- ・世代間の公正
自分たちのことだけでなく、未来のみんなのために、自分たちの責任ある行動が大切になってくる。

④SDG s との関連

- ・目標 1 1 住み続けられる街づくり
- ・目標 1 2 作る責任・使う責任
- ・目標 1 4 海の豊かさを守ろう
- ・目標 1 5 陸の豊かさを守ろう

4 評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 調べたことを絵や文でまとめている。	1 自分の考えを伝えたり友達お意見を聞いたりして、まとめをしたり交流会の内容を考えている。	1 友達と協力して調べたことをまとめたり、交流会の準備をしたりしようとしている。
2 廃材を利用したり工夫したりしながら作品を作っている。	2 自分の希望する役割を考え、選択している。	2 友達と協力してリサイクルや野菜のお世話をしようとしている。
3 ごみを減らす、出さない方法について知っている。		

5 単元構成 20時間

	学習内容	指導上の留意点
第一次	<p>「すごい菌ちゃん！菌ちゃんと野菜づくり」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年間テーマのオリエンテーション 2 給食の野菜くずでたい肥作り(菌ちゃん) ・畑のお世話 3 たい肥で畑で野菜を育てる。 4 参観で親子調理 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間計画を伝え、活動の見通しを持たせる。 ・給食委員会の児童や調理員賛意話をしてもらい、給食の残食や野菜くずがたくさんあることに目を向けさせる。 ・野菜くずは再利用できることに気づかせる。
第二次	<p>「ゴミの行方を調べよう すすめ！さくら探偵団」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校のごみの行方を調べる。 2 3Rステーションを見学して、ゴミの行方について調べる。 3 ゴミの行方やリサイクルの方法などについて調べまとめる。 4 リサイクル体験を行い、学校や家庭でも実践する計画を立てる。 <p>「くるくるリサイクル」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 リサイクル計画を実行する。 2 給食廃棄物などの再利用について考える。 3 ゴミを使って野菜作り・作品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の野菜くずの再利用の経験を思い出し、学校ではどんなごみがどのくらい出ているのか興味を持たせる。 ・3Rステーションにおいてリサイクル体験を行い、自分多たちにもできそうだと気づかせる。 ・学校や家庭でもすぐにできそうなことを考えさせる。 ・できたことや反省を交流し、継続して行うにはどうすればいいのか考えさせる。 ・廃材などで作品を作り、全校造形作品展に出展する。
第三次	<p>「広げよう！クルクルリサイクル」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べて分かったことや経験をまとめる。 2 3年生・4年生に向け発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも達成できたことを共有し、有用感を持たせる。 ・学校全体に広げるために、各学年との交流会でも宣伝する。

6 指導の実際

【すごい菌ちゃん！菌ちゃんと野菜づくり】

調理委員さんや給食委員会、栄養教諭に残食の話聞き、自分たちにできることについて教えてもらった。野菜づくりに活用できることを知り、実際に学級の畑で野菜を育てる活動を行った。食品ロスや食品の廃材の再利用などに対する知識が深まっていった。



(畑つくりと野菜の種上の様子)



【ゴミの行方を調べよう すすめ！さくら探偵団】

3R ステーションの見学を行い、自分たちができるリサイクルについて学んだ。リサイクル体験をすることで、「自分たちにもできそうだ」という意識を持つことができた。また、身近なごみ問題についても知ることができ、もっと知りたいという意欲につながった。

(3R ステーション見学の様子)

【3R ステーションで学んだことの発表】

自分たちが学び、これからのごみ問題解決に向けて、個人でできること、みんなで取り組みたいこと等を発表した。発表内容を作る際に、それぞれの課題について交流することで、協働の視点を持ち、課題解決の方法を考えようとしていた。3年生からの感想や自分たちもやってみたいなどの感想をもらうことで、意欲が高まっていった。



(3年生への発表の様子)



【自分たちが育てた野菜で調理実習】

「すごいぞ菌ちゃん」の取り組みで育てた野菜を使い調理実習を行った。自分たちが育てた野菜であることのほかに、食品ロスの視点を持った活動であったことも言葉がけを行うことで、「たのしい」、「おいしい」だけではなく、みんなで課題解決した結果の一つであるという思いを持ち、命の大切さや無駄なく使うことに対しての意識も深まった。

(調理実習の様子)

7 成果と課題

○成果

- ・生活単元学習として取り扱うことで、児童の生活と結びつきやすく、実生活においても取り組む児童が出てきた。
- ・3年生に発表し感想をもらうことで、自分たちの活動に有用感を味わうことができ、今後も続けていこうという意識を高めることができた。

○課題

- ・個別の課題は年度ごとによって変わっていくので、この課題をどうしていくかを検討。
- ・次年度に向けて、何を継続し、何を変えていくのか、学年で共有していく。
- ・まとめの発表を残しており、発表後に「有用感・達成感」を味わえるように教師側で温かい声かけを行う。
- ・次年度に向け、教員間で成果と課題を整理し、持続可能な取り組みへとしていく。

現在の学年終了時に目指す姿

自分たちの生活と環境問題に関心を持ち、身近なごみ問題に対して解決方法を主体的・協働的に考え、多様な考え方を尊重しながら、よりよい学校・社会のための行動を自ら起こすことができる。

目標 1 1 目標 1 2

目標 1 4 目標 1 5

生活単元学習

「ゴミの行方を調べよう すすめ！さくら探偵団」

3R ステーションを見学して、ゴミの行方について調べよう。ゴミの行方やリサイクルの方法などについて調べまとめる。リサイクル体験。

- ・こんなに多くのゴミがあるんだな。
- ・埋立地は大丈夫かな。
- ・分別で困っていることがあるんだな。

生活単元学習「くるくるリサイクル」

自分たちにできるゴミ減量について調べ、実践計画を立て、実行する。紙漉き体験や給食廃棄物などの再利用について考える。

- ・ゴミを使って野菜作り・作品作り

教科・領域 生活単元学習

「進め！さくら探偵団」

○主に養いたい ESD の資質・能力

【進んで参加する態度】

- ・良いと思った考えを行動に移す力

【他者と協力する態度】

- ・調べまとめたものを友達や3・4年生に伝えていく。

○主に育てたい ESD の価値観

【幸福感へ気づき】

- ・自分たちの活動や行動が、未来の幸せにつながっていることや役に立っていることに気づく。

【自然環境・生態系の保全を重視する】

- ・誰かが守るのではなく、自分たちで守るという意識を持つ。

生活単元学習

「すごいぞ菌ちゃん！菌ちゃんと野菜づくり」

給食の野菜くずは菌の力でたい肥に生まれ変わることを知り、たい肥づくりを行い、それを使って野菜を育てる。

- ・僕たちにもできることがあるね。
- ・調べて分かったことを伝えたいな。
- ・みんなと力を合わせると色々なことができるね。

生活単元学習「広げよう！くるくるリサイクル」

調べて分かったことや経験をまとめ、3年生・4年生に向け発信する。